

高機能ダッシュボードでの

EspressReport® ES

Free Development resources and
Empower end users with
Intuitive point-and-click,
Drag-and-drop interface
Zero training

始めに

現状の世界的なビジネス競争環境で、企業はビジネス戦略、経済上の最新情報をベースにした実施し、そしてビジネス・パフォーマンス・マトリックスを素早く動き、調整し、手直しする必要に駆られています。経済データがニュース・メディアで提供されている間、企業はビジネス・パフォーマンスの状況のモニタリングをデータベース格納庫から分かりやすいマトリックスとレポートに変換できるビジネス・インテリジェント(BI)ツールを必要としています。EspressReport®ES (ERES) はいつでも、どこでも意思決定をサポート・分析のための PKI (Key Performance Indicators) をモニターするビジネス分析用のツールです。

EspressReport®ES の Dashboard Builder はシンプルで、シンクライアント型で、ドラッグ・アンド・ドロップ/ポイント・アンド・クリックなインターフェイスにより、IT や開発リソースを使用しないでテクニカルな経験のないユーザが簡単にプレゼンテーション品質の KPI ダッシュボードを作成することができます。作成されたダッシュボードは直ちに企業内のユーザに配信されます。

主な機能

ERES のダッシュボードはダイナミックで、フルに実施可能です。パネルにスタティックなチャートやレポートを表示できるだけの他社のダッシュボードとは違って、ERES のダッシュボードは高度なインタラクティブ性を持っています。主な特徴的な機能は次のようになります。

シェアード・パラメータ

パラメータが付属するレポートとチャートはダッシュ・ボード上で別のパラメータ値を使用して個別に稼動することができます。ユーザはダッシュボード上でフィルタされたデータを使用してリフレッシュされたレポート/チャートを確認するために1セットの値(バリュー)を提供することが必要なだけのようなシェアード・パラメータを追加して設定できます。

シェアード・パラメータを展開し、ユーザがパラメータ値を入力するオプションはいくつかあります。

- 1) もしレポート/チャートでオリジナル・パラメータがマップされていない時はパラメータに値を単純にタイプします。
- 2) もしパラメータがデータベース、ファンクション、セレクト・ステートメントまたはユーザ指定にマップされている時には、パラメータ・バリューはシングル・バリュー、またはマルチ・バリューに関わらずボックスのリストから選択することができます。

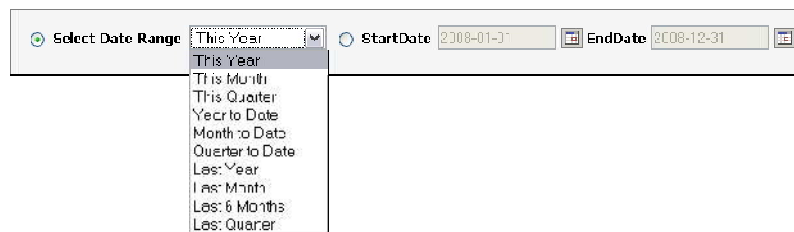
The screenshot shows a dialog box titled "Shared Parameters:". It contains the following elements:

- Category Name:** A dropdown menu with "Arm Chairs" selected.
- Select Region:** A list box with "East", "Midwest", "South", and "West" options. "South" is currently selected.
- Min Quantity:** A dropdown menu with "1" selected.
- Buttons:** "OK" and "Cancel" buttons at the bottom.

- 3) もしパラメータがデータベース、ファンクション、セレクト・ステートメントまたはユーザ指定にマップされ、そしてパラメータ用の特別なバリュー数値が制限されている時には、これらのバリューは（もしマルチ・バリューであれば）ラベル、イメージ、ラジオ・ボタン、チェック・ボックスとしてリストされます。

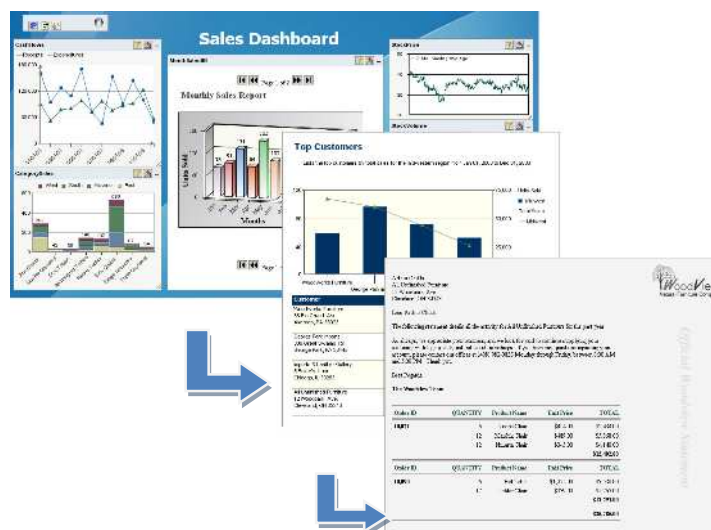


- 4) 範囲変数は同じフィールド用にパラメータのペアにアサインすることができます。最も一般的なアプリケーションは日付範囲の設定です。例：日付の開始と終了。日付範囲変数の初期設定セットが準備されていて、ユーザは「今日」、「昨日」、「先週」、「先月」、「当月の初めから今日まで」、「昨年」、「前四半期」などから選択することができます。



制限の無いドリルダウン

ドリルダウン・リンクはチャートとレポートのデータ・ポイントに設定でき、ユーザは特定のデータ・ポイントについて詳細情報へドリルダウンが可能です。レポートとチャートは独自のドリルダウン構造を持っているので、ドリルダウン・レベルの数には制限はありません。



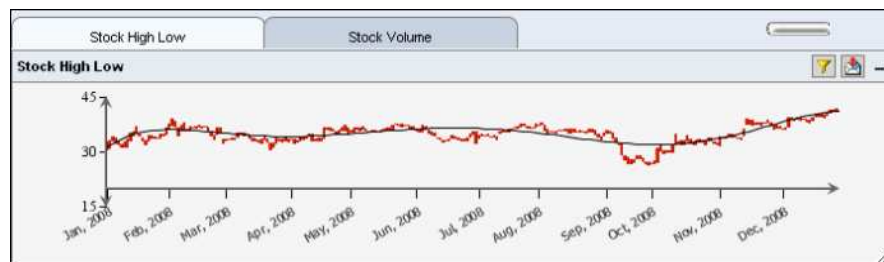
エレメントへのリンク

レポートとチャートへのドリルダウン設定に追加して、ダッシュボード上の他のエレメントへのリンクを設定することも可能です。ユーザがチャートやレポートのデータ・ポイントをクリックした時に、ダッシュボード上の複数のチャート/レポートは新たなフィルタ済みのデータでリフレッシュされます。



フォルダ

ERES's dashboards can contain folders. You can put a group of reports and charts in a folder on the dashboard. As such, you can pack more information in the dashboard. The reports and charts in the folder can be completely independent. They can also be used to display the same data in different views, e.g. different chart types and reports as different views into the same data. ERES ダッシュボードはフォルダを含んでいます。ユーザはダッシュボード内のフォルダでレポートとチャートをグループ化できます。それゆえ、ユーザはダッシュボードにさらに情報を詰め込むことができます。これらのフォルダ内のレポートとチャートは完全に独立しています。レポートとチャートは別々のビューで同じデータを表示することができます。例：同じデータで、違ったビューで違ったチャートタイプとレポート。



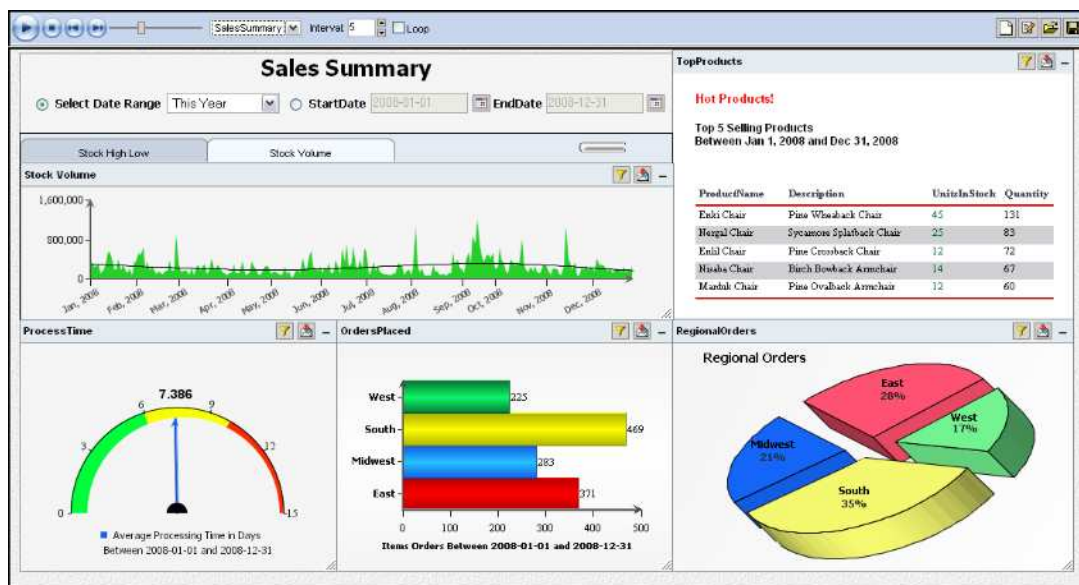
自動リフレッシュ

ユーザはダッシュボード上のエレメントのリフレッシュ間隔を設定でき、周期的に新規データにリフレッシュされます。



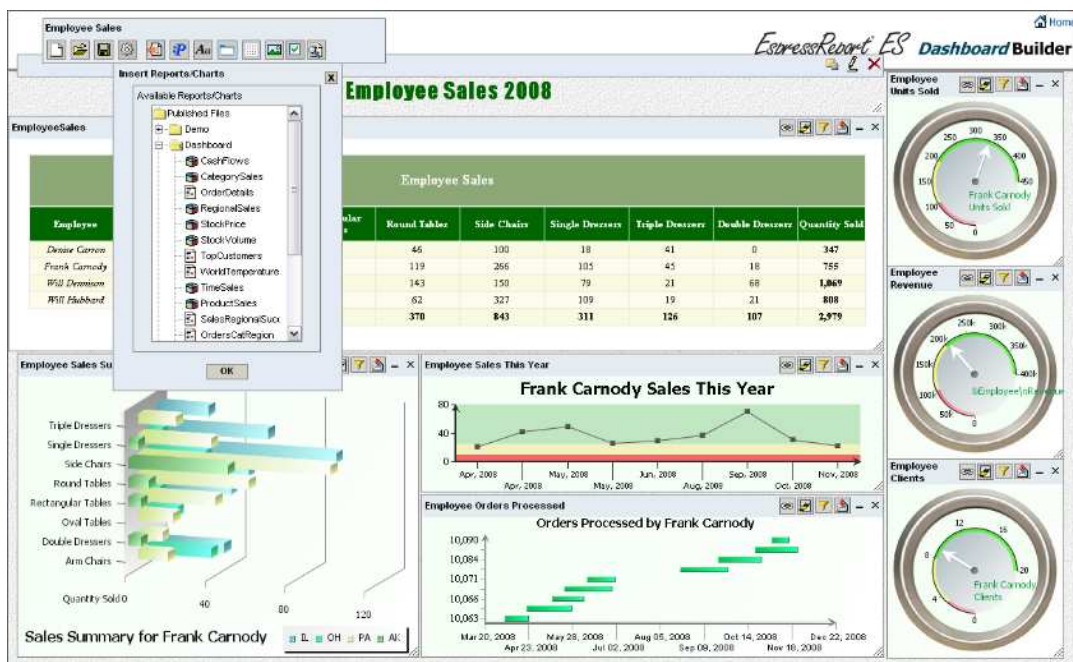
スライド・ショー

ユーザは ERES のダッシュボードのグループを選択し、スライド・ショーの実行が可能です。これは KPI (キー・パフォーマンス・インジケータ) の経営情報を強化する素晴らしい方法です。

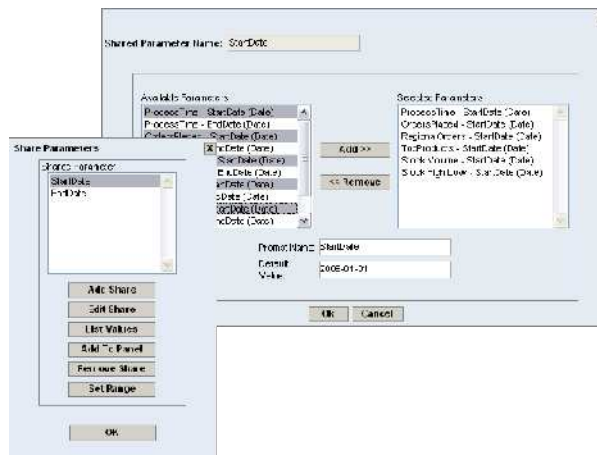


Dashboard Builder

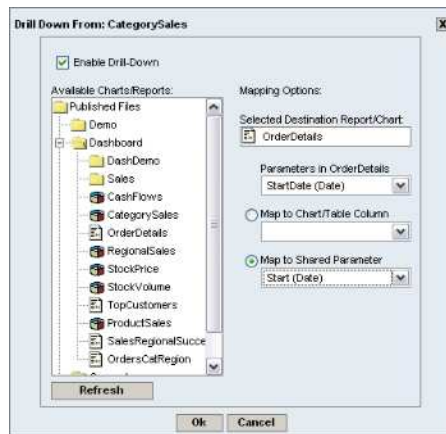
ERES ダッシュボードのコア機能は Dashboard Builder です。ダッシュボードを作成するには Organizer から可能なチャートとレポートを単純に追加します。



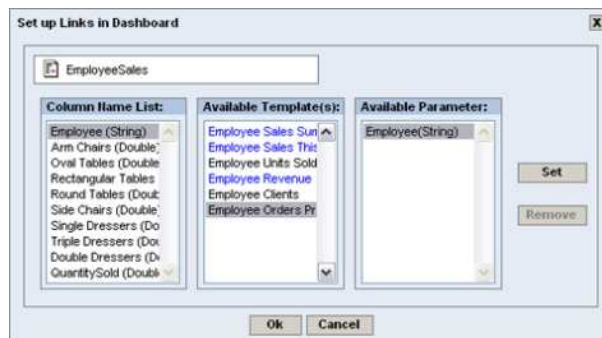
ダッシュボードにレポート/チャートを挿入すれば、同じバリューを共有できる類似パラメータを持ったいくつかのエレメントを提供して共有パラメータを設定することができます。



エレメントにチャート/レポートへのドリルダウンを追加するには、単純に「add/modify DrillDown」ボタンをクリックします。ドリルダウンにパラメータがマッチするチャート/レポートを選択します。選択したチャート/レポートが別のパラメータを持っているなら、ユーザは共有パラメータにマップする必要があります。



エレメントにリンクを追加するには「add/modify link」ボタンをクリックします。ダッシュボードにパラメータ化されたレポート/チャートがあれば、「Available Templates」パネルに表示されます。リンクさせるためにマッチするパラメータでそれから選択することができます。



ダッシュボードのルック・アンド・フィールは高度なカスタマイズが可能です。ダッシュボードにラベル、バックグラウンド色、バックグラウンド・イメージを追加することができます。テキスト・フォント、サイズ、カラーもカスタマイズ可能です。パラメータ・パネルは同様にカスタマイズ可能です。



ディプロイメント

Organizer にダッシュボードを一旦保存することで、ERES Menu Page で直ちに発行可能です。ダッシュボードへの URL はまたユーザ自身の web ページでも発行するように生成することができます。スライドショー機能を使用したディプロイメントはダッシュボードに発行するまた別の方法です。

結論

EspressReport[®] Enterprise Server (ERES)は EspressReport[®]の pure Java レポート・エンジンの機能を活用した堅固で、集中型のレポート・アーキテクチャを提供し、エンタープライズへ拡張したものです。組込まれた自動レポート配信機能、エンドからエンドで、ユーザ/データ・セキュリティ、高度なアドホック・クエリと分析機能、スケーラブルな pure Java アーキテクチャで競合に差を付け、IT 開発努力を必要とせずに、幅広いビジネスユーザ参加者に情報量のある KPI ダッシュボードの作成と配信を簡単にできる理想的なプラットフォームを提供します。

詳細については www.climb.co.jp/soft/ と www.quadbase.com を参照ください。

Copyright © 2008 Quadbase Systems, Inc. All rights reserved. EspressReport is a registered trademark of Quadbase Systems. All other trademarks belong to their respective owners. 翻訳©株式会社クライム